

帝国主義戦争に反対する闘争を支持します！ AWC 日本連 第 23 次総会に送る連帯メッセージ

AWC 日本連の同志の皆さん、韓国委員会を代表して第 23 回総会をお祝い申し上げます。

今年に入るや朝鮮半島情勢が急変しています。4 月末、板門店で南北首脳会談と、5 月中に朝米首脳会談が予定されています。南北、朝米首脳会談が成功裏に進行すれば韓朝米首脳会談も予想できます。5 月末には韓中日 3 国首脳会談も予定されています。

平昌冬季オリンピックを契機に、北朝鮮応援団と芸術団の韓国訪問、南北アイスホッケー単一チーム出場、南北特使の交換訪問と第 3 次南北首脳会談合意がなされました。同時に韓米軍事演習が中断され朝鮮半島に一時的な平和が訪れました。南北、朝米首脳会談を控えて、延期になっていた韓米連合軍事訓練(キーリゾルプ、フォールイーグル)が 4 月 1 日から始まりますが、米国の戦略資産が参加しないなど個年に比べ攻撃的訓練を縮小するなど対話の雰囲気が醸成されつつあります。

韓国の労働者民衆は、2016 年末から 2017 年初めまで 4 ヶ月にわたるロウソク抗争を通じて朴種恵を退陣させました。朴種恵－崔順実ゲート関連者が大挙拘束され、文在寅政府が誕生しました。そして積弊清算の一環として、朴種恵を不法に大統領に当選させるのに一役買った李明博もまた各種の不正によつて拘束・収監されました。しかしサムスン財閥のイ・ジェヨンは 1 年もたたずに釈放され、朴種恵退陣の先頭に立った民主労総ハン・サンギョン前委員長は監獄に閉じ込められています。不平等と差別、搾取と収奪を強化する新自由主義政策は相変わらず進行形です。

今年初めまでも朝鮮半島は米国を中心にした西側世界の北朝鮮制裁と北朝鮮の ICBM 発射などで朝米間の対決局面でした。トランプと金正恩の間の感情的な暴言で朝鮮半島の緊張が高まりました。韓米同盟に基づく韓国の北朝鮮圧迫と米国同盟を通じて朝鮮半島進出の野心を抱いた安倍は露骨に帝国主義としての侵略意図を表わしました。彼が推進してきた戦争法、自衛隊と米軍基地強化、憲法 9 条改悪の試みは、朝鮮半島侵略戦争を準備するものでした。

昨年の初めから森友－加計スキャンダルで地に落ちた安倍の支持率は、朝鮮半島が戦争直前の緊迫した状況に変わる中で上昇しました。しかし南北、朝米首脳会談開催を控えて韓米合同軍事演習が攻撃から防御的水準に縮小されるなど、朝鮮半島が平和と対話の雰囲気に変わるなかで、戦争の雰囲気を利用して日本国民をだまして自身の不正を覆い隠そうとしていた安倍の意図は破綻しています。再び森友問題が暴露されるなかで、安倍は退陣圧力に直面しています。韓国民衆がロウソク抗争で朴種恵－李明博を逮捕させたように、日本民衆の闘争で帝国主義者・腐敗した保守政治勢力である安倍を追い出さねばなりません。

朝鮮半島と北東アジアに一時的な平和が訪れました。しかし安心してばかりはいられません。1994 年クリントン－金正日が結んだ朝米ジュネーブ協定は、2003 年ジョージ・ブッシュが北朝鮮、イラクなどを「悪の枢軸」と規定して中東侵略戦争を断行するなかで破棄され、朝鮮半島に緊張が再現されました。来る 5 月、朝米首脳会談が予定されていますが、トランプは「条件なしの対話」を主張してきたティラーソン国務長官を解任し強硬派のポンペオ前 CIA 局長を健命するとともに、北朝鮮先制爆撃を公言してきたジョン・ボルトン前国連大使を国家安全保障担当補佐官に任命して朝米首脳会談を準備しています。

北の核廃棄を通じた朝鮮半島非核化を主要求として提示している米国と韓国に対応する北朝鮮の対応戦略はもちろんのこと、朝鮮半島をめぐる日中露 3 国の寝害関係も非常に複雑です。したがって朝鮮半島情勢は流動的です。この情勢を各国の権力者にだけ任せることはできません。戦争に反対して平和を念願する労働者民衆が主導していかなければなりません。韓国で展開されたロウソク抗争のように、粘り強く「戦争反対、平和実現」をばねばなりません。朝鮮半島と東アジア地域の労働者民衆の連帯で帝国主義侵略戦争を食い止めねばなりません。帝国主義侵略戦争反対のために闘争してこられた AWC 日本連の同志たちを支持します。

2018 年 3 月 25 日
AWC 韓国委員会代表 許榮九(ホ・ヨング)